

学校運営協議会委員 任命式・研修会

今年度お世話になる学校運営協議会委員（新任・再任）の任命式・研修会が4月13日（水）に行われました。

この時の教育長のあいさつを紹介します。



有田市の学校教育の方針は、「認め合い、学び合い、郷土を愛する子どもの育成を図る」です。その中に「自然や文化とのふれ合いを深め、郷土に対する誇りや愛情を育む」という項目があります。このことを達成するには、地域の方々の協力がなくては進めることができません。

この春の小学校の卒業文集に、「将来、みかん農家になりたい」、「漁業を仕事にしたい」と書いている児童がいました。親の職業を継ぐというのではなく、興味を持ってそのような職業に就きたいと書いている子もいました。とても嬉しく、いいことだなと感じました。地域の産業を盛り上げる雰囲気をつくっていくことが、そんな夢や目標を持つ子供を育てていくことにつながるのだと思います。

たくさんの子供に、有田市で育って良かったと思えるようにしたいものです。そのためにはコミュニティ・スクールが重要な役割を果たすのではないかと考えています。

皆様のご協力により、市内各校のコミュニティ・スクールの取組の充実を図り、有田市の教育が益々発展していくことを祈念しています。どうぞよろしくお願いいたします。

登下校の交通安全

新年度が始まりました。新1年生も新しい学校の生活に慣れ始める頃です。

この時期に、気を付けたいのが交通事故です。「幼児・小学生の歩行中死傷者数（2020年）」では、小学校新1年生が最も多くなっています。その原因では、飛び出しが多く、興味のあるものへ衝動的に反応するといった子供の特性が関係していると推察されます。



子供の登下校中の安全確保のため、有田市では、約600名の市民の皆様にご協力いただき「登下校の見守り活動」を行ったり、通学路にのぼりを立てて注意を呼びかけたりするなどの活動に取り組んでいます。

地域の皆様には、車を運転するときには、交通法規を厳守するとともに、子供の急な飛び出しに対応できるように速度を控えるなど、児童生徒の安全の確保にご協力をお願いします。

